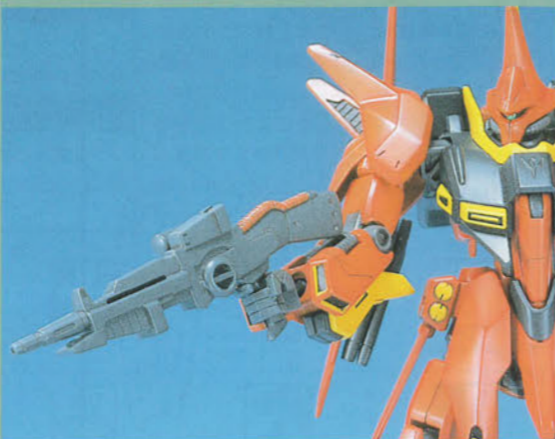


パウ・アタッカー/パウ・ナッター



ビーム・ライフル



アクションポーズ



ビーム・サーベル



リアビュー



### COLOR GUIDE

- ※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。  
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。  
 ●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。  
 ●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
- |  |   |
|--|---|
| ●本体胸部等：<br>ミッドナイトブルー (80%)<br>+ブルー (20%)<br>+ホワイト (少量)<br>※または、ガンダムカラーブラック1            | ●関節、ビームライフル等：<br>ニュートラルグレー (70%)<br>+ブラック (30%) |
| ●頭部、腕部、脚部等：<br>オレンジ (80%)<br>+シャインレッド (20%)<br>※または、ガンダムカラーオレンジ1                       | ●シールド：<br>ココアブラウン (70%)<br>+ブラック (30%)          |
| ●胸部インターク、つま先等：<br>イエロー (80%)<br>+オレンジイエロー (20%)<br>+サンディイエロー (少量)<br>※または、ガンダムカラーイエロー1 | ●ビームサーベル：<br>蛍光イエロー (100%)                      |

# AMX-107 'BAWOO'

## NEO-ZEON ATTACK USE PROTOTYPE TRANSFORMABLE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : AMX-107  
 TOTAL HEIGHT : 22.05m  
 WEIGHT : 34.7t  
 TOTAL WEIGHT : 67.5t  
 GENERATOR OUTPUT : 2410kw  
 THRUSTER GENERAL OUTPUT : 75040kg  
 SENSOR EFFECTIVE RADIUS : 12200m  
 MATERIAL : GUNDALIUM ALLOY  
 ARMAMENTS : BEAM RIFLE  
 MEGA-PARTICLE GUN  
 BEAM SABER  
 GRENADE LAUNCHER  
 MISSILE



1/144 SCALE

# HG

UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2000 MADE IN JAPAN

写真の完成品は、塗装してあります。



## AMX-107 "BAWOO"

「パウ」は、ZZガンダムと同様に、機体をふたつに分離させ、それぞれを戦闘機として運用するというコンセプトで試作されたが、複数のパイロットが必要であることから開発はペンディング（一時棚上げ）された。また、ミノフスキー粒子散布下では制御が困難であるとの理由から、リモートコントロール案も却下された。それでもMSとしてのスペックは優秀であったため、アクシズ（ネオ・ジオン）における慣例に従い、一旦は、可変機構などをオミットした上で士官専用機として改修されることになったのだが、搭乗予定のグレミー・トトは、全ての機構を温存した上で、さらに却下された無線誘導に加え、パウ・ナッターには慣性誘導装置や強力な弾頭の搭載を命じた。かくしてパウはMSとして、または軽快な機動性を持つ攻撃機、および射程640kmのミサイルとして運用可能な機体として蘇ったのである。その後パウは、構造にムーバブルフレームを取り入れたため、堅牢で自由度が高い上コピーも容易であることや、前例のない戦術の展開を可能とする特異なMSとして評価され、量産されることとなる。パウは「TMS (TRANSFORMABLE MOBILE SUIT) = 可変型MS」の新たな可能性を検証すべく開発されたMSである。アクシズは、すでに「ガザ」シリーズを実戦投入していたが、

連邦軍やエゥーゴ、ティターンズなどが投入するTMSに対抗し得る機体の開発に関しては後手に回っていた。実際、U.C.0088年当時には可変MSの全盛期とも呼べる状況にあり、各勢力のTMSが、その有効性を存分に発揮していたのである。すべからず、MS開発において後れをとる訳には行かないと考えるアクシズの技術者たちは、TMSに関しても貪欲に取り組んだ。また、政治的な駆引の道具として連邦軍やティターンズから供与された機体や技術なども膨大であった。ことに、アクシズの地球圏帰還による「ジオン復興」に賛同する勢力も少なくなく、AE（アナハイム・エレクトロニクス）やエゥーゴなどから、ネオ・ジオンに「参加」あるいは「復帰」するスタッフも相当数にのぼったと言われている。事実上、パウはそういった諸事情によって誕生したZ（ゼータ）ガンダム（あるいはZプロジェクトによる他の機体）のデッドコピー（技術や設計を盗用）したMSであるとも言えるだろう。

### 頭部ユニット

基本構造はザク系のデバイスによって構成されるが、飛行形態に変形するため、空力的に考慮された外装を持つ。

腕部グレネードランチャー

### ビーム・ライフル

パウの専用ビーム・ライフル。基本的にはアサルト仕様だが、ラビッドモードでも使用できる。



### SPEC

型式番号：AMX-107  
全高：22.05m  
本体重量：34.7t  
全備重量：67.5t  
ジェネレーター出力：2410kw  
スラスター総推力：75040kg  
センサー有効半径：12200m  
装甲材質：ガンダリウム合金  
武装：ビーム・ライフル  
メガ粒子砲（シールド内蔵）  
ビーム・サーベル  
腕部グレネードランチャー  
ミサイル

### 腕部グレネードランチャー

### シールド

AMX-103ハンマ・ハンマ同様、メガ粒子砲を内装する攻防一体の装備。アタッカー形態時には機体下面に装備され、フェアリングユニットとなって機体下面の空力特性を改善させている。

### ▼ビーム・サーベル

近接戦闘時、超高温のビーム刃を形成して斬撃などを行う武装。パウのものはAMX-004キュベレイなどと同様手首の内側からリリースされるが、収納された状態でビームガンとして機能するかどうかは不明。

### ▲パウ・ナッター

最大で1800kgのペイロードを持つ大型ミサイルとしても機能する（無論、核弾頭の積載も可能である）。母機との通信が途絶した場合、搭載コンピュータが自己判断で航行する。一説にはインコムレベルのインターフェイスが搭載されていたとも言われるが、定かではない。

### ▲パウ・アタッカー

パウの上半身で構成される攻撃機。フレキシブル・ウィング・バインダーが主翼となり、空力的にも安定した飛行が可能。ビーム・ライフル、ミサイル、グレネードランチャーなど武装も豊富だが、緊急時には脱出艇そのものとなる。

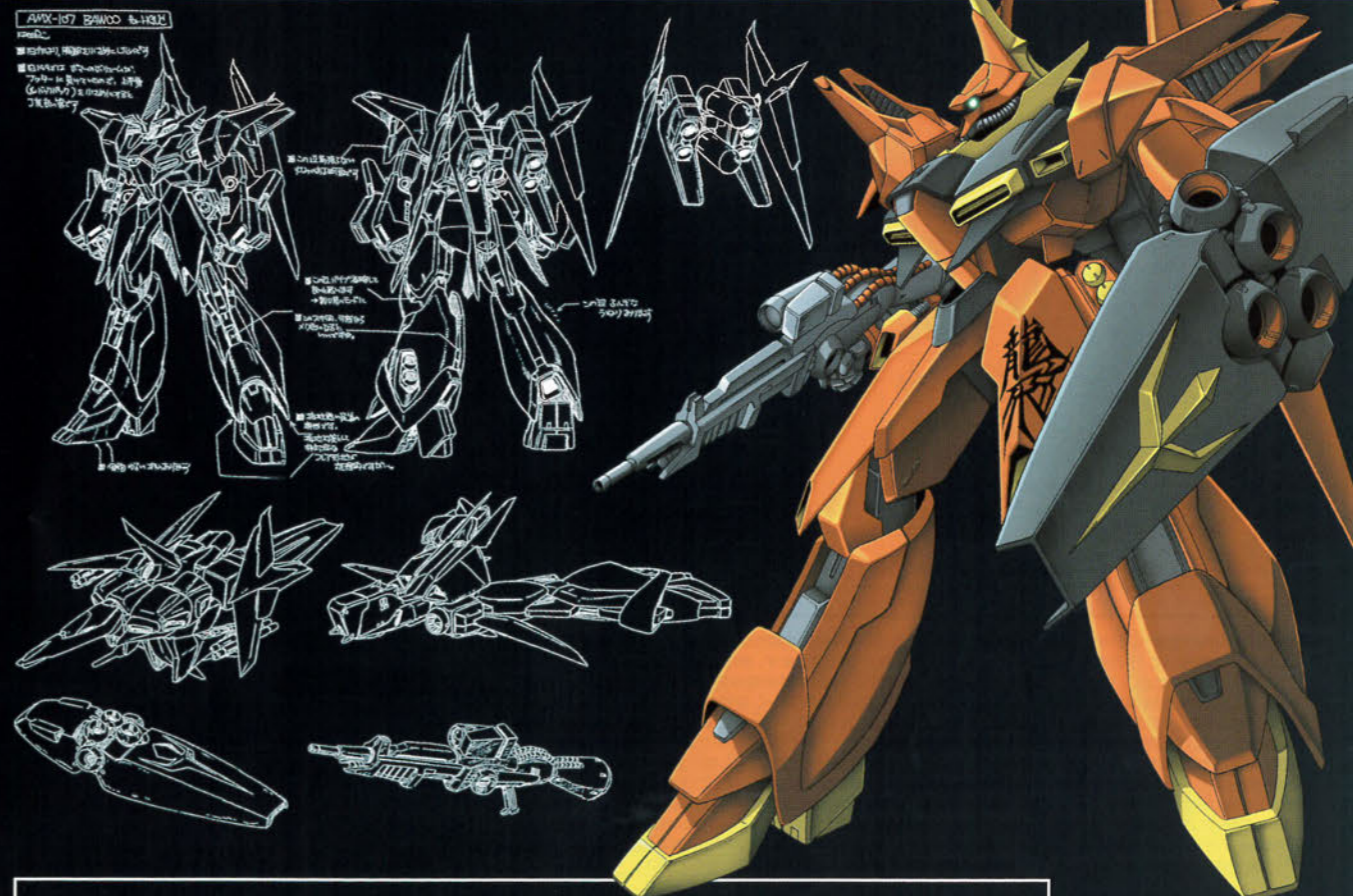


### AMX-107 パウ

AMX-107パウは、TVシリーズ「機動戦士ガンダムZZ」に登場した可変型MSである。U.C.0088年3月26日、補給のため立ち寄ったロストコロニー「ムーンムーン」の神殿に捕らわれた主人公のジュード・たちアーガマのクルーは、ZZガンダムの奪回と脱出を試みるが、その騒動のさなか、ネオ・ジオンのゴットン、キャララに加勢すべく、グレミーのミンドラが攻撃を加えてきた。その時、グレミー自らが駆ってZZガンダムに襲いかかった新鋭機がパウであった。ちなみに、パウのフロントアーマーに描かれた文字は「龍」と「飛」の組み合わせではなく「パウ」と読むひとつの漢字であり、グレミーが自らの盛装に龍らしきデザインを施していることから、彼の出自に関わる意匠ではないかとされている。（撮影協力：ホビー・ジャパン）

### ■AMX-107 BAWOO (パウ)

デザインワークス（コンセプトデザイン：カトキハジメ）



「パウ」のリニューアルデザインにおいては、モビルスーツ時のプロポーション及び各関節のフレキシブルな可動をそこなく、"パウ・アタッカー"及び"パウ・ナッター"への変形・合体を再現することが重点的なポイントといえる。

Illustration work  
Drawn by MASANORI SHINO  
CG Work by TAKAYUKI FURUKAWA

**△警告 (けいこく)**

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

**△注意 (ちゅうい)**

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

・接着をするところの線	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側と同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

**パーツリスト**

**A1パーツ (スチロール樹脂: PS)**

**A2パーツ (ABS樹脂: ABS)**

**B1パーツ (スチロール樹脂: PS)**

**B2パーツ (スチロール樹脂: PS)**

**Cパーツ (スチロール樹脂: PS)**

**<P.C-123プラス> (ポリエチレン: PE)**

- シール……………1
- マーキングシール………1

**《組み立てる時の注意》**

●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。  
●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。  
●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。  
●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

**1**

**2**

**3**

**4**

**5**

**6**

**7**

**8**

**9**

**10**

